

初の佐賀城本丸けんてい実施!

先憂後楽



ボランティア手づくり

また、報道関係では、ボランティアの手作りによる本丸のけんていについて、新聞もあって、新聞関係が5社、テレビ・ラジオ関係が4社と、多くの取材があり、マスコミ



第一回佐賀城本丸けんてい試験が3月22日(日)に、佐賀城本丸歴史館(外御書院)で行われ、県内外から六十八人の受験者が参加されました。

当初、定員は五十名とし、定員をオーバーした時は抽選を予定していましたが、記憶が曖昧なまま第一回本丸けんてい試験に申し込み、申込者75名全員が受験していただくことになりました。このため急遽、試験会場を御座間から外御書院に変更したという状況になります。

振り返ってみますと、今回の本丸けんていは昨年8月、当館が開館5周年を迎えたのを契機に「幕末・維新期の佐賀の歴史をもっと知ってもらおう」と、歴史ボランティア約九十名が企画したもので、問題作成から広報活動、採点まで全て手作りで取り組んでまいりました。

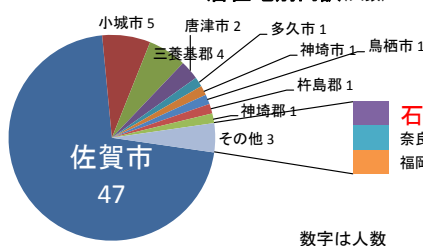
五十問出題し、六十分の制限時間でしたが、よく勉強されている方が多かったせいか、受験者の半数以上は制限時間の途中で解答を済ませ、退席されておりました。

三の関心も非常に高かったようです。2年かかりで準備してまいりましたが、こんなにも多くの方々に受験していただき、しかも大成功裡のうちに、無事終了することが出来、ただただ感謝の一言でした。

最後になりましたが、試験会場、駐車場整理、念書読取及び受験者案内など、ご対応されたボランティアの皆様のご協力に対して、心からお礼感謝を申し上げます。

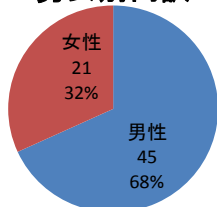
受験者の分析

居住地別内訳(人数)

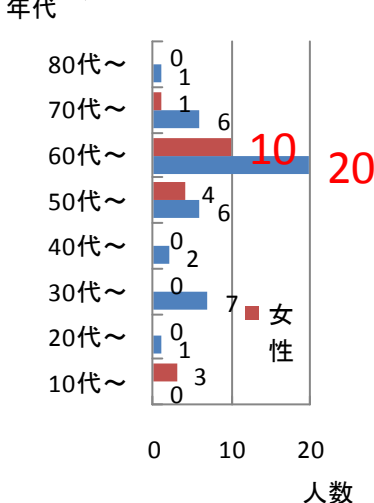


佐賀市在住者が47名と全体の71.2%を占めています。この他に石川県、奈良県、福岡県から3名の受験者がありました。

男女別内訳

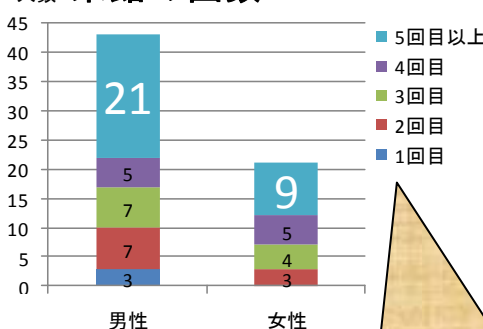


男女別・年齢別内訳



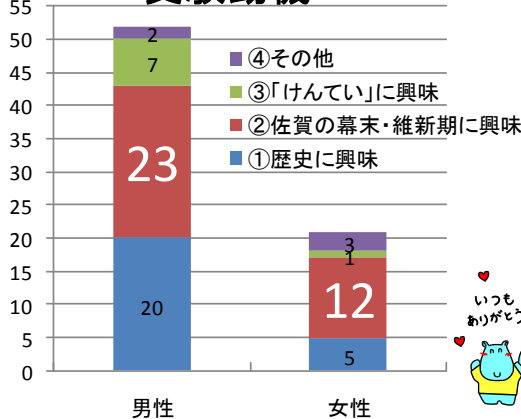
60代が30人と全体の49.2%を占め、次いで50代10人、70代7人となっています。最年少は12歳の女子中学生で、最年長は83歳の男性です。女子中学生(12~13歳)は3人受験し、親子(母親と女子中学生)も1組ありました。

来館の回数



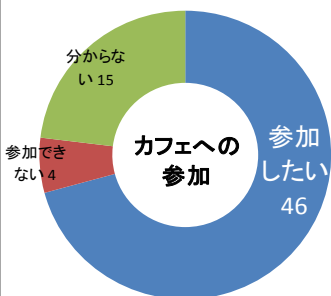
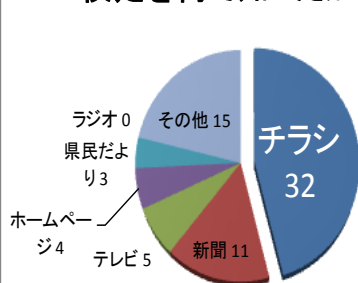
5回目以上の方が30名、次いで3回目11名、4回目・2回目が10名となっており、1回目はわずか3名となっています。この事から、リピーターの方が多く、本丸歴史館が県民の皆さまから親しまれ、利用されていることがうかがえます。また、10代の2名と20代の1名の計3名が5回以上となっており、歴史好きな若者が増加していることは、心強い限りであります。

受験動機



受験生の方々にアンケートに協力していただき、ありがとうございました。

検定を何で知ったか(人数)



その他の意見 (33名の方から回答をいただき、その中で7名の方が書かれたものをそのまま掲載します。)

(継続希望・お礼の言葉関係)

- (男性30代) 佐賀に生まれ、自然がたぐさあり、住みやすい場所であることしか知りませんでした。幕末・維新の活躍ぶりを知るようになり、改めて佐賀を誇りに思うようになりました。また、けんてい試験を受験させていただくことを光栄に思います。
- (男性60代) 大変楽しく取り組ませていただきました。非常に難しい問題がありましたが、もっともっと佐賀城本丸へ通い、勉強しなければと思いました。また、こういう機会があれば是非参加したいと思います。
- (男性20代) 来年度もぜひ実施していただきたい。手作り感が伝わって良かった。佐賀のことをもっと勉強したくなりました。
- (女性10代) 地元を歴史を深く知るきっかけになって良かったと思います。知らないことがたくさんあったので、これからも地元の歴史について学ぶために、ここに来ようと思います。第2回、第3回と、続けてほしいです。

(提案・運営上の注意について)

- ◇ (男性40代) 途中退場可能時間の40分は遅すぎる。30分くらいでもいいのではないかな。
- ◇ (男性60代) 3月は季節的に寒く、インフルエンザ、花粉症などの時期に当たりますので、秋頃実施されてはいかがでしょうか。
- ◇ (男性70代) 試験中、退席される方に気が散り、もう少し考慮(退席方法など)してほしい。